

＊感染症情報＊

保育園で、**手足口病とヘルパンギーナと診断**されたお子さんがいます。どちらも夏に流行する感染症です。**コロナウイルス感染症**の流行もまだ油断ができない状況です。発熱など体調が悪い時には、自己判断せず専門医を受診して下さいようお願いします。

手足口病とは・・・腸の中にいるコクサッキーA16ウイルスやその他のエンテロウイルスが原因で起こる夏かせの一種。生後6カ月くらいから、4～5才ころの幼児に多い病気です。

《潜伏期間》3～5日

《感染経路》**咳や唾液の飛沫感染**の他、**便からもウイルスが排出**されて経口感染したりします。

《症状》 その名のとおり手足と口にできる水疱状の発疹が特徴。手のひら、足のうら、口の中に、周囲が赤くて真ん中が白い、米粒大の水疱ができます。足の甲やおしりにできることもあります。痛みやかゆみはありませんが、足の水疱が少し痛がゆいことも。熱は出ても37～38度くらいで、1～2日でたいてい下がります。ときには下痢や嘔吐を伴うこともあります。

《治療》 基本的にはお薬はありません。軽くすむ場合が多いので自然に治るのを待つしかありません。**症状に対する対症療法**です。

《登園基準》 熱が下がり、いつもどおりに食事がとれ、機嫌もよくなれば登園可能です。

登園時には、**保護者による登園許可証**に記載をお願いします。

ヘルパンギーナとは・・・乳幼児の間で流行しやすい夏風邪の一種で、38～40℃の高熱が2～3日続きます。

喉の奥に小さな水疱ができ、痛みを伴います。痛みの為飲んだり、食べたりできなくなり水分が十分に取れないため脱水症になることもあります。

＜感染経路＞飛沫感染、接触感染、経口感染

＜潜伏期間＞3～6日 ・ウイルスの排出は呼吸器からは1～2週間、便からは数週から数か月みられる。

＜症状＞ **突然の発熱、咽頭痛**が見られる。咽頭に発疹が見られ痛みをともなうことが多く、食欲不振や機嫌が悪くなったり、よだれが多く出たりします。

＜治療＞有効な薬はなく対症療法になります。口の中を痛がる人が多いので、食欲不振による脱水症に注意し、出来るだけ刺激の少なく、のど越しがよいものを与えるようにしましょう。

＜登園＞ **全身状態が安定すれば登園可能です。**

（熱が下がり、のどの痛みがとれ、普通に食事がとれる。機嫌がいい）

登園時には**登園許可証（保護者記入）**が必要です。

＊現在、保育園では**下痢症状で欠席**しているお子さんが増えています。

夏の疲れ、寒暖差など免疫力も下がっている可能性もあります。規則正しい生活で元気に過ごしましょう。